

優良住宅部品「BL部品」認定
(換気ユニット サニタリー用ファン)
〔浴室・トイレ・洗面所用〕

三菱ダクト用換気扇
中間取付形ダクトファン
(24時間換気機能付)

仕様	1~3部屋換気用	
形名	V-18ZMC6-BL	V-18ZMPC6-BL

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。

■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

■この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井裏に据付けてください。

それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。

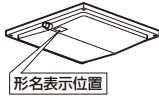
■形名によって据付け方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。

■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび吸込グリルが必要です。(各製品の各吸込風量は同等となっています。吸込風量を調節する場合はシステム部材の風量調節機構付排気用グリルをご使用ください)

■その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。

■当社製以外の電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど)やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。

■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。



優良住宅部品 (BL 部品) について

●当社の定める据付け要領を逸脱しない据付けに不具合(瑕疵)が生じ、据付け業者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(または刻印など)がされている住宅部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。

●BL保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家財などの物的損害に結びつくもの
--	-----------	-----------------------------------	--	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		感電注意		指示に従う		アース確認
--	----	--	-------	--	------	--	------	--	-------	--	-------

警告	
<p> ●内釜式風呂を据付けた浴室には据付けられない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。</p> <p> ●浴室内にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。</p> <p> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発・引火の原因。</p> <p> ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。</p> <p> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。</p>	<p> ●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。</p> <p> ●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。</p> <p> ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。</p> <p> ●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。</p>

注意	
<p> ●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けられない。 火災の原因。</p> <p> ●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。</p> <p> ●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。</p>	<p> ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。</p> <p> ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。</p> <p> ●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。</p> <p> ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</p>

2. 据付け前のお願い

<p> ●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。</p>	<p> ●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。</p>
--	---

お願い

本体の真下に点検口(□450mm)を必ず設けてください。
製品の取替えを考慮される場合、□600mmの点検口が必要です。

- 点検口がない場合の本体修理などで、天井などを壊す場合の費用はおお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

据付け

- プラスチックボディタイプ中間取付形ダクトファンおよびダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高温(40℃以上)になるところには据付けしないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉には据付けしないでください。腐食(落下)、漏電(感電)、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 本製品は水平据付け以外で据付けしないでください。

据付場所

- 浴室など湿気の多い場所では、吸込グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に据付けてください。
- 騒音を重視する寝室などに吸込グリルを据付ける場合は、別売システム部材のフレキシサイレンサーまたは中間取付形ストレーツサイレンサーを使用すると約10dBの消音効果があります。(サイレンサーは浴室など湿気の多い所では使用しないでください)

天井・ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 吸込グリルから製品本体(吸込側ダクト接続口)までのダクトはドレン水の逆流を防ぐため製品本体に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり

●据付け前に、必ず排気ダクト、吸込ダクト、ダクト用システム部材に異常(ダクトのつぶれ、ほこり詰まりなど)がないか確認してください。風量低下や異常音発生の原因となります。

3. 外形寸法図

■V-18ZMC6-BL
V-18ZMPC6-BL

ダクト径 φ100mm

付属部品
カバープレート(樹脂製)……2個
テープ……2枚

4芯ビニルキャプタイヤケーブル 有効長約3m
3極接地形差込みプラグ付(WF5415相当) 単位(mm)

4. 据付方法

1 据付け前の準備

本体の据付位置・吸込方向・排気方向を決める。

お願い ●浴室など湿気の多い場所を換気する場合はドレン配管を行い、ドレン水排出処理を行ってください。

メモ ●吸込グリルを寝室に据付ける場合、吸込ダクトに消音効果のあるフレキシサイレンサーを使用することをおすすめします。

〈3部屋換気〉

〈2部屋換気〉

〈1部屋換気〉

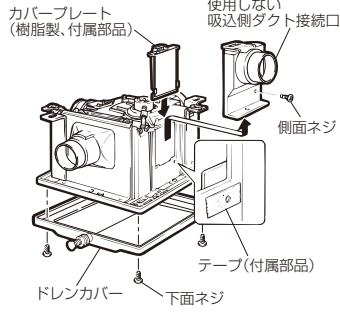
※吸込方向は上図以外の据付方向も選択できます。

4. 据付方法 つづき

2部屋換気・1部屋換気の場合

使用しない吸込側ダクト接続口をカバープレートに付替える。

- 下面ネジを4本はずし、ドレンカバーをはずす。
- 側面ネジ1本(または2本)をはずし、使用しない吸込側ダクト接続口をはずす。
- 吸込側ダクト接続口をはずした箇所に付属のカバープレート(樹脂製)を取付ける。
- 付属のテープでネジ穴をふさぐ。
- ドレンカバーを下面ネジ4本で元どおり取付ける。

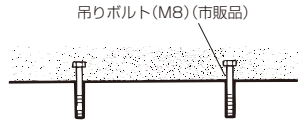


お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。ドレンカバーが破損する原因となります。

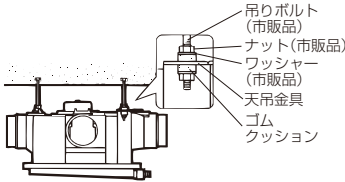
2 本体を吊る

外形寸法図の天吊金具据付位置を参照して市販の吊りボルトを埋込む。



天吊金具を吊りボルトに据付け、市販のワッシャー・ナットで確実に固定する。

- ドレン水が排出されるよう、本体は水平に据付けてください。
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。

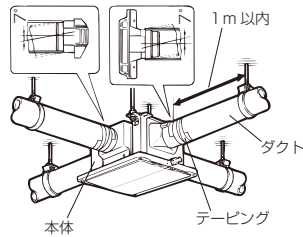


3 ダクト接続

(1) 本体から壁排気穴・吸込グリル位置までダクト配管、ダクトを天井から吊る。

お願い

- ダクト接続口に力が加わらないようにダクトを吊ってください。(力が加わるとシャッター開閉不良・風漏れの原因となります。)
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向 7°)

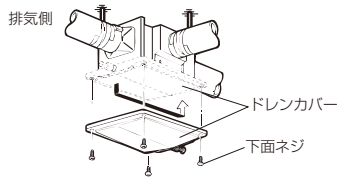


4 ドレン水排出処理

浴室など湿気が多い場所を換気する場合は、必ずドレン水排出処理を行う。

ドレン水排出方向を選択する

- 4か所の下面ネジをはずし、ドレンカバーをはずす。
- ドレンカバーの向きを変更し、はずした下面ネジで取付ける。ドレンカバーの向きは4方向から選択可能です。



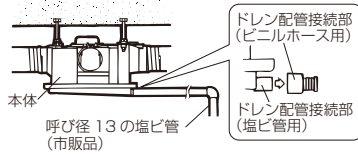
お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。ドレンカバーが破損する原因となります。

ドレン配管を接続する

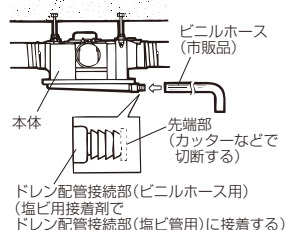
■硬質塩ビ管を接続する場合

- 本体下面にあるドレン配管接続部(ビニルホース用)をはずす。
- ドレン配管接続部(塩ビ管用)に呼び径13の塩ビ管を接続する。
- 接続部分から水もれのないようシール材を塗布する。



■ビニルホースを接続する場合

- 本体下面にあるドレン配管接続部(ビニルホース用)をはずし、ドレン配管接続部(塩ビ管用)に塩ビ用接着剤を塗布し、ドレン配管接続部(ビニルホース用)を接着する。
- ドレン配管接続部(ビニルホース用)の先端部をカッターなどで切断したあと、ビニルホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定する。



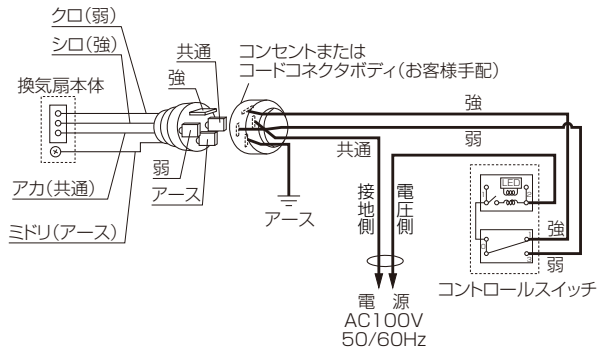
お願い

- ドレン水排出管からドレン水が漏れないように水漏れ防止処理を行ってください。
- ドレン水が本体へ逆流したり、途中でドレン水がたまる配管は行わないでください。

5 電気工事

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

■結線図(太線部分を結線する)



■適応コントロールスイッチ

本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
V-18ZMC6-BL V-18ZMPC6-BL	P-04SWL ₂	4A-AC300V

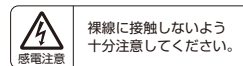
- コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」・「弱」切替えてランプの点灯が薄くなったりちぢたりすることがありますが異常ではありません。

■結線の前に

- 市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチに容易に停止されない工夫が必要です。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないようにたるませ、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。

■電圧チェック表

- 線間電圧が下記の電圧であることを確認してください。



スイッチ	線間電圧(V)		
	測定部	共通-強	共通-弱
切		0	0
入-強		100	0
入-弱		0	100

■結線方法

- 電源コード先端には、3極接地形差込プラグ(7A、125V、WF5415相当品)が取り付けられていますので同形のコンセントまたはコードコネクタボディを設置する。
- 電源プラグをコンセントまたはコードコネクタボディに差し込む。

お願い

- 電源電線は本体上部のモーターに接触しないようにしてください。

6 天井材を張る

天井材を張る。

お願い

- メンテナンスが行えるよう本体の真下のドレンカバーが取りはずせる位置に点検口(□450mm)を必ず設けてください。(製品の取替えを考慮される場合、□600mmの点検口が必要です)点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品を修理するために必要となる天井やその他の取り壊しおよび修理費用はお客様のご負担となります。

7 吸込グリルの据付け

別売システム部材または市販のグリルを据付ける。据付方法は部材に同梱の据付説明書をご覧ください。

5. 試運転

- コントロールスイッチがある場合は、切/入、強/弱切替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチを入れても羽根が回転しない 強/弱どちらか動かない 	<ul style="list-style-type: none"> 分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーカーを「入」にする 結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) *換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する **5 電気工事の電圧チェック表を確認する
<ul style="list-style-type: none"> 運転中に異常な音や振動がする 吸込グリルから吸込まない 	<ul style="list-style-type: none"> 本体・ドレンカバー・吸込グリルが確実に据付けられていない 羽根・吸込グリルに異物が付着している 本体の固定が弱い 換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット) 換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管) 換気風路の抵抗が大きい(屋外フード) 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく据付け直す 異物を取り除く 本体の固定を確認する ガラリ・アンダーカットを開けて給気する ダクトのつづれ、急な曲がりを修正する 屋外フードのほこりを清掃する(特にリフォーム時)

*ティッシュペーパー1枚(2枚1組のティッシュは1枚に分ける)を吸込グリルに近づけ吸付くかどうかで簡易的に吸込グリルからの吸込みを確認できます。
*確認は強運転で行ってください。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号